

1 市政運営の方針・考え方について

(1) 市政運営全体方針について

リーマンショック以降の厳しい財政状況を乗り越え、平成27年度予算では、大型事業と財政の健全化のバランスが取れた運営がなされていると認識する。しかし、公共施設の老朽化、高齢者や児童の福祉、教育など課題は山積している。こうした状況下、平成28年度の予算編成及び第二次総合計画策定に向けた市政運営の基本方針を伺う。

(2) 具体的な事業方針について

若者活性化方針について

ヤング草莽塾、三十会など、若者からの提案や発信の機会提供を進めている。こうした若者が活躍できる場の提供のさらなる発展及びニートや引きこもりなどの課題を抱える若者の支援について、市の方針及び取り組みの考えを伺う。

男女共同参画事業について

男女共同参画事業における現状の課題認識及び相談体制の充実策について伺う。あわせて今後の事業方針を伺う。

下水道事業の方針

天竜川左岸流域下水道が磐田市に移管された。人口が減少する中で公共下水道整備と老朽管更新などの維持管理を並行して進めていく必要がある、今後も財政運営は厳しいと考える。こうした環境を踏まえた事業方針を伺う。

病院経営の方針

高齢化が加速する中で病院経営を取り巻く環境は厳しくなっていると同時に、公営病院は地域包括ケアシステムなど医師会と連携した地域医療体制の中核としての機能が求められていると認識する。こうした環境を踏まえた事業方針を伺う。

(3) 行財政改革などについて

文化・スポーツ活動、子育てや医療・介護、幼児教育・学校教育などの各分野において、民間活力の活用をより推進していく必要があると認識するが、市の考えはどうか。

道路河川や公園などの市民ニーズを踏まえた速やかな改良・改善や除草作業などの実施が求められている。協働で行う箇所、専門性が必要とされるため行政が行うべき箇所の分類も含め、技能職員の役割は重要と考える。そのための補充を含めた直営技能職員の適正配置についての考えを伺う。

危機管理について

防災対策への対応を中心に危機管理体制の強化が進められてきたが、社会環境は、マイナンバー制度などのセキュリティ、ノロウイルスなどの感染対策、不祥事等に対する組織対応など、行政・企業における市民や顧客への説明責任を含めた問題対応の的確さとスピードが、より求められる状況と認識する。危機管理体制のひとつとして、リスクマネジメントの構築が必要と考えるが、様々な不測事態への取り組み方針を伺う。

2 地域の課題について

(1) 自立した地域づくり

地域づくり協議会の位置づけと役割について、交流センターごとに地域住民による議論が進められ、地域自治への歩みが動き出していると認識するが、自立した地域づくりのためには、市民一人ひとりの理解を深めるための取り組みが不可欠と考える。市の認識と市民への啓発策を伺う。

地域づくり協議会の重要な機能として、地域支え合い体制の充実強化、及び地域における各種組織の見直しと再編成があると認識している。現在の進捗状況と課題、地域への期待を伺う。

自立した地域づくり拠点としての交流センター活用の現状、及び地域への交付金一括化に向けた会計の統一など、自立した地域への基盤づくりの現状と課題、今後の取り組みは。

(2) 防災対策の充実

防災センター、指定避難所、救護所などにおける備蓄内容の明確化と市民への情報提供についての取り組みを伺う。

自主防災会及び家庭に対する備蓄内容の啓発と指導の取り組み状況について伺う。

(3) 交通安全対策の推進

歩道の整備及び狭隘道路の通学路優先指定とカラー舗装については、重点地域を定めて推進していると思うが、市内全域への普及と迅速な保全作業が課題と認識する。市としての通学路の安全対策方針と現状を伺う。

(4) 空き家対策

空き家の現状把握と法整備の状況を踏まえた危険防止対策などの実施について、市内の現状と対策の方向性を伺う。

3 福祉と教育の課題について

(1) 社会的弱者に対する支援の強化

生活保護、生活困窮者に対する就業支援・学習支援を進めているが、これまでの成果と今後の取り組みを伺う。

妊娠期からの切れ目ない子育て支援が磐田市の方針と認識しているが、これまでの成果と今後の取り組みを伺う。

発達支援の充実が着実に進められている。しかし一方で支援が必要とされる子どもの数が増加しており、相談体制が追いつかないことが心配される。民間委託や専門家の招致を含めた発達支援に関する相談体制の充実への取り組みを伺う。

障害者の自立に向けた医療型児童発達支援センターの設置についての検討状況と課題、今後の取り組みを伺う。

(2) 子育て支援の推進について

保育ニーズが高まる中で、保育士の不足が心配されるが、保育士の充足状況及び業務実態の現状と課題及び今後の取り組みを伺う。

全国的に子どもの外遊び不足が懸念されている。磐田市においても外遊びができる環境が必ずしも整っているとは言えないと認識する。プレパークなどによる外遊び支援策なども視野に、現在の公園を市民団体との協働などにより子どもの外遊び啓発に活用する取り組みを研究したらどうかと考えるが、市の意見を伺う。

(3) 小中一体校構想に基づいた義務教育の質の向上

社会環境が複雑化する中で、スクールソーシャルワーカーの必要性を求める声が高まっており、すべての中学校への配置が必要と考える。課題を含め、教育委員会の認識を伺う。

また現代社会をたくましく生きる子どもの教育のためには、総合的な学習やキャリア教育の強化が重要と考えるが認識と取り組みを伺う。

コミュニティ・スクールをすべての学府で進めていくという方針であるが、そのためには学校運営協議会の活性化やCS(コミュニティ・スクール)ディレクターの増員などが必要と考える。具体的な取り組みの考えを伺う。